

15.4.1

四

實は反配階級の要求を尊重するかので何等無產階級の愿望を關ひ取るに
忠實なるものでないと言ふ事を告白し大眾の期待に反か人事を説明し
たのであるが
四 故に我等は前三回中央委員会の決議撤回を迫るものである。何と本來は三四
中央委員会の門戸開放の決議は極めて如く其より去り出でて何事か個人、
或三回中央委員会の決議を葬るに似付するのであるが、それが誰が誰が
代理人とその西園をめぐらかニウタ共ノサセヨリハ特に賀川豊若君の夫
吉澤立義定義に至っては改めて又甚だしこそはナシム如、立義といふ者も其妻
大眾共産主義共産主義者等の問題にして内々之は本來は説明する事入る地主
の政策に対する防衛を問題としてゐるが、必ず逆説西園博士に於ける小作主義
を見よ。 我等は二回立義定義夫婦を殺すの外モナリ情面の事あるが、我等
は只此立義定義は彼の正体を曝露し我等として彼の挑戦の行方
決着を準備せしめたり其小事を告ぐるのみである

中央委員会一部反動幹部の横暴に對抗せし段落、極端な事に至り、此
セーモラセーモラは總の中央委員諸君と亦殺害し同様我等一派無立江太郎等
離反しなせばならぬであらう。日和見主義幹部は一意且ちに監視
を握るに優手であるが、假等の屈服で力中央委員諸君等又同
様立る悲境に陥入る事我等は非じる
無產大眾現下の悲禍万々要取口添へ！

三回体排除の談議を撤回せよ

おままで第一無產政黨を擁護せれ！

二九二六一月九

行動農民党三四中央委員會
九卅聯合會
九卅紹工組委執行委員會

行動農民党三四中央委員會